

特別史跡

西都原古墳群

発掘調査・保存整備概要報告書（XXIV）



2022. 3

宮崎県教育委員会

例 言

1. 本書は文化庁の補助を受け、宮崎県教育委員会が実施した「西都原古墳群史跡整備推進事業」の令和3年度事業概要報告書である。
2. 発掘調査は宮崎県教育委員会が事業主体となり、宮崎県立西都原考古博物館が実施した。
3. 発掘調査及び保存整備の実施地点は、下記のとおりである。
第3支群291号墳・滅失墳1：宮崎県西都市三宅4799・4800・4801番（発掘調査）
酒元ノ上横穴墓群：宮崎県西都市大字三宅字酒元ノ上4807番（保存整備）
4. 本書の執筆・編集は、宮崎県立西都原考古博物館学芸普及担当 主任主事 留野優兵が担当した。
5. 発掘調査で出土した遺物は、同博物館にて保管している。

目 次

第Ⅰ章 発掘調査及び整備の経緯	1
第1節 既往の整備事業	1
第2節 西都原古墳群史跡整備推進事業	1
第Ⅱ章 2021（令和3）年度の発掘調査	3
第1節 西都原291号墳の発掘調査	3
第2節 第3支群滅失古墳の発掘調査	3
第Ⅲ章 保存整備	3

第 I 章 発掘調査及び整備の経緯

第 1 節 既往の整備事業

西都原古墳群は、1912（大正元）年から1917（同6）年にかけて、我が国最初の古墳の学術的・組織的調査が実施された後、1934（昭和9）年8月1日に国の史跡に、1962（昭和27）年3月29日には特別史跡に指定された。後の追加指定を経て、現在の指定面積は約58万㎡に及んでいる。そして、1966（昭和41）年から1969（同44）年まで、最初の『風土記の丘』として整備事業が行われ、以後、史跡公園としての環境維持や古墳の保護が図られてきた。

その状況を踏まえたうえで、宮崎県教育委員会では「史跡の保護」に加えて「活用」という観点から1993・1994（平成5・6）年度に「西都原古墳群保存整備検討委員会」を設置し、1994年度末に『西都原古墳群保存整備基本計画』をまとめ、それに基づき1995（同7）年度より新たな整備事業に着手した。1995（平成7）年度から2002（同14）年度にかけては文化庁の補助事業である「大規模遺跡総合整備事業」（1997（同9）年度より「地方拠点史跡等総合整備事業」）を活用し、発掘調査の成果を基にした古墳の復元整備工事や環境整備、見学施設の建設、土地公有化などを行った。その後、2003（平成15）年度から2007（同19）年度には「西都原古墳群歴史ロマン再生空間形成事業」の事業名で、46号墳の発掘調査や111号墳の墳丘復元工事などを実施し、2008（同20）年から2013（同25）年度には「西都原古墳群活用促進ゾーン整備事業」の事業名で、46・47・201・202・284号墳の発掘調査や、46・47・202号墳の墳丘復元工事などを実施した。2014（同26）年度から2018（同30）年度には「西都原古墳群調査整備活性化事業」の事業名で、101・265・陵墓参考地周辺・第1支群横穴墓群の発掘調査や100・171・206号墳の再整備などを実施した。

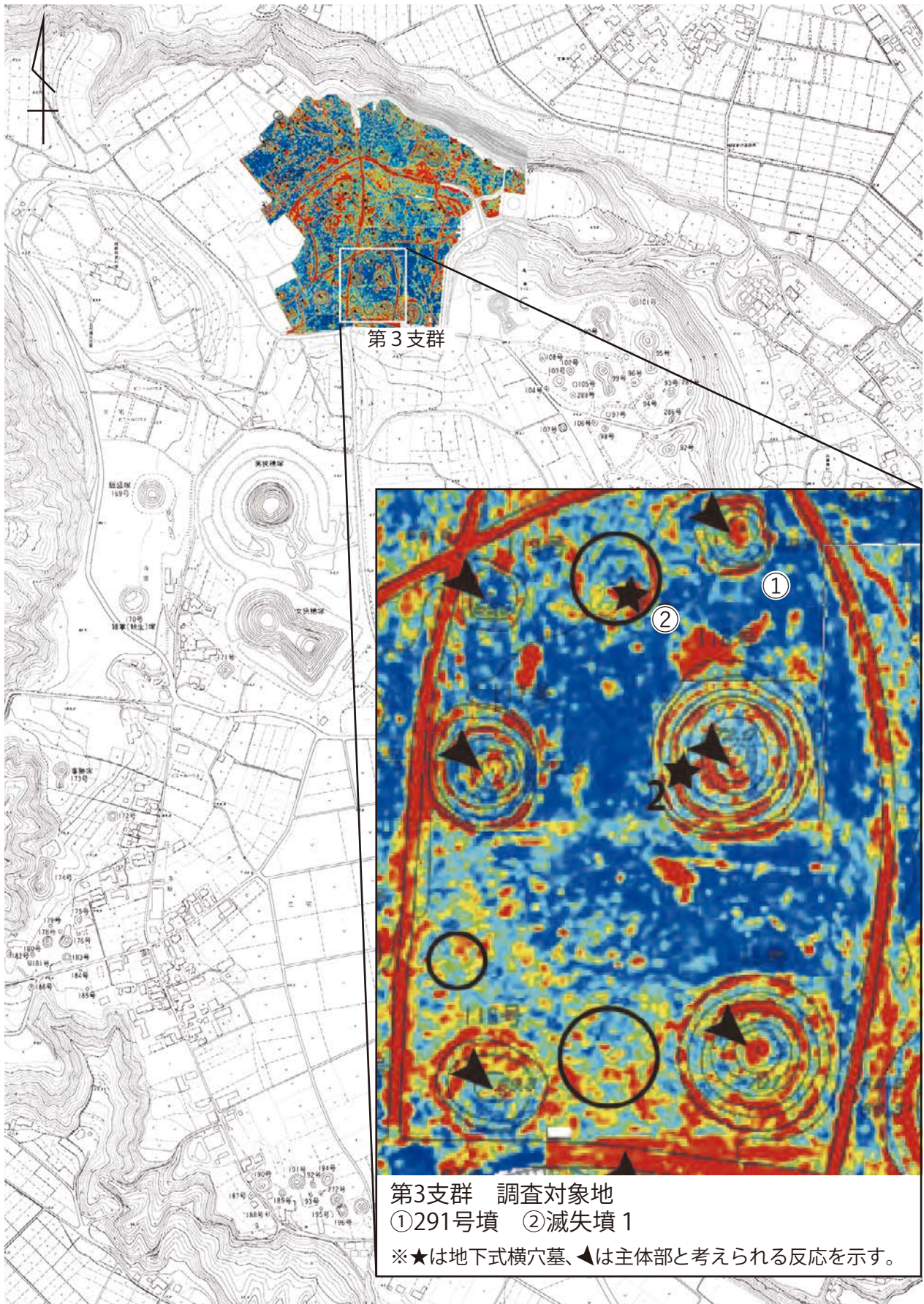
第 2 節 西都原古墳群史跡整備推進事業

宮崎県教育委員会では、2018（平成30）年度に前述の『西都原古墳群保存整備基本計画』を上位計画と位置付けた上で、新たな整備実施計画を策定し、2019（令和元）年度より標記事業に着手している。

当該事業は、確認調査や調査終了古墳の整備保存、見学施設の再整備などを継続して実施し、それにより西都原古墳群の基礎的理解を深め、その価値を具現化させることで、古墳群に対する県民の広い理解を形成し、史跡の保存と継承を実現するために行うものである。

2019（令和元）年度に第1支群横穴墓群および西都原115号墳の発掘調査、101号墳墳丘周辺の環境整備、2020（令和2）年度に第3支群の西都原115号墳・291号墳、地中レーダー探査の検証を目的とした発掘調査、酒元ノ上横穴墓群保存覆屋の再整備を実施した。

2021（令和3）年度は、前年度から引き続いて西都原291号墳、および地中レーダー探査の調査結果と実際の遺構の状況を比較するために西都原古墳群第3支群の滅失墳の発掘調査を実施するとともに、酒元ノ上横穴墓群保存覆屋の再整備を行った（第1図）。



第1図 発掘調査・復元整備古墳の位置

第Ⅱ章 2021（令和3）年度の発掘調査

第1節 西都原291号墳の発掘調査

西都原291号墳は、第3支群の中央部、118号墳の北側に位置する。2007（平成19）年から2009（平成21）年にかけて実施した地中レーダー探査の結果、墳形が方形を呈する可能性が浮上した。そのため、地中レーダー探査の反応と実際の地下の遺構を比較することを目的として、2020（令和2）年度より発掘調査を実施している。2020年度の調査では、現状の墳丘の北東と南西の隅に調査区（1・2トレンチ）を設定したが、後世の耕作等による削平が著しく、墳形を確認することはできなかった。

そこで、2021（令和3）年度では、残存する墳丘の中心から各方角に軸をとった4本のトレンチ（3～6トレンチ）と、墳丘の北西・南東の隅の2か所（7・8トレンチ）に計6か所の調査区を設定した。調査はK-Ah層（鬼界アカホヤ）まで表土を除去した後、墳丘の残存部分と周溝埋土の確認を行った。南側の6トレンチでは、表土下にK-Ah層が残存しておらず、その下に堆積する黒色土の上面で検出を行った。発掘調査の結果、残存する墳丘は周溝基底面の間で測った場合、直径は約17mを呈する円墳であることがわかった。残存する周溝の直径は東西約20m、南北約19mとなる。3・4・7・8の各トレンチから須恵器の坏身や壺・甕、土師器碗や模倣坏が出土している。須恵器坏身は和泉陶邑編年のTK47型式に類似する特徴を有する。

第2節 第3支群滅失古墳の発掘調査

2021（令和3）年度は、過去に西都原291号墳の西側で行った地中レーダー探査の結果に基づいて滅失墳1と命名して発掘調査を行った。

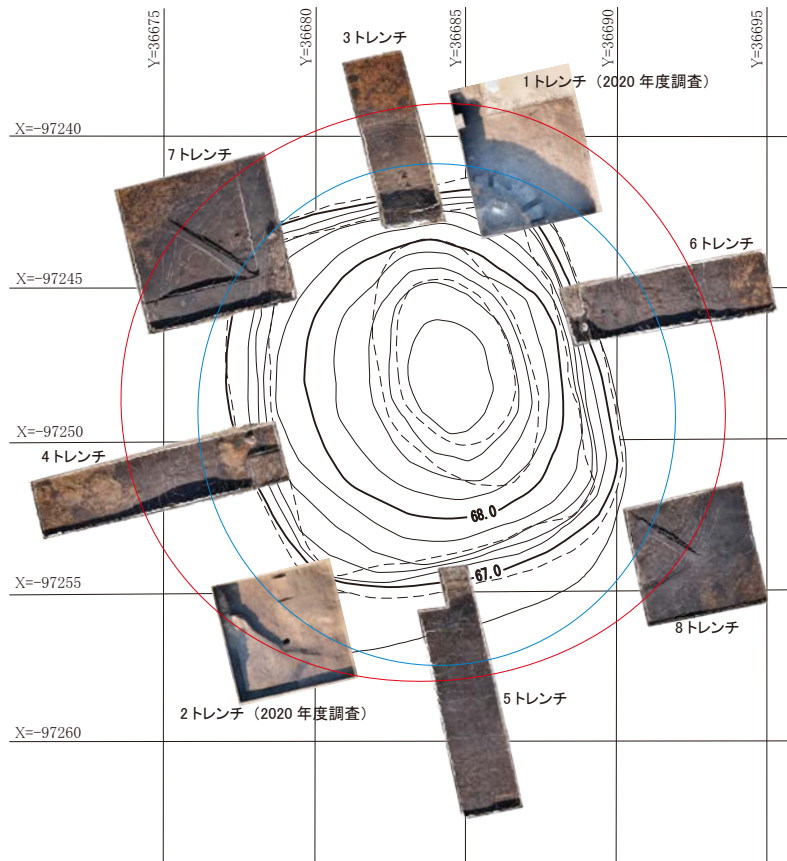
この地点では、周溝と共に地下式横穴墓の玄室と考えられる反応がとらえられた。今回の調査では地下式横穴墓の有無を確認するため、調査区は竪坑の推定位置を調査できるように反応の中心から南西・南東・北西・北東の各方向に設定した（1～4トレンチ）。

各調査区ではK-Ah層の上面まで表土を除去し、検出作業を行った。その結果、南東方向に設定した1トレンチを除く各調査区で削平された墳丘と周溝を確認した。周溝の直径は北西側の周溝基底部と南東側の周溝基底部の間に、約11.2mである。1トレンチでは周溝が検出されず、2トレンチでは周溝端部を検出したことから、滅失墳1の周溝は全周せず南西側で途切れていることがわかった。また、4トレンチでは地下式横穴墓の竪坑を検出した。竪坑は周溝埋土を掘り込むもので、一見したところ方形土坑の重複のように見えるが、後世の土壌攪乱の影響によるものである。竪坑の平面形は、長軸2.2m・短軸1.7mの横長の長方形を呈し、北東側隅部は隅丸となる。最深部の深さは、検出を行ったK-Ah層の表面から約0.8mとなる。羨門は墳丘中心を向いた北西方向に掘削され、約半分を検出した。竪坑内埋土の中位は黒色土が堆積し、羨道部に向かって堆積するため、板閉塞とみられる。周溝、竪坑ともに遺物は出土しなかった。

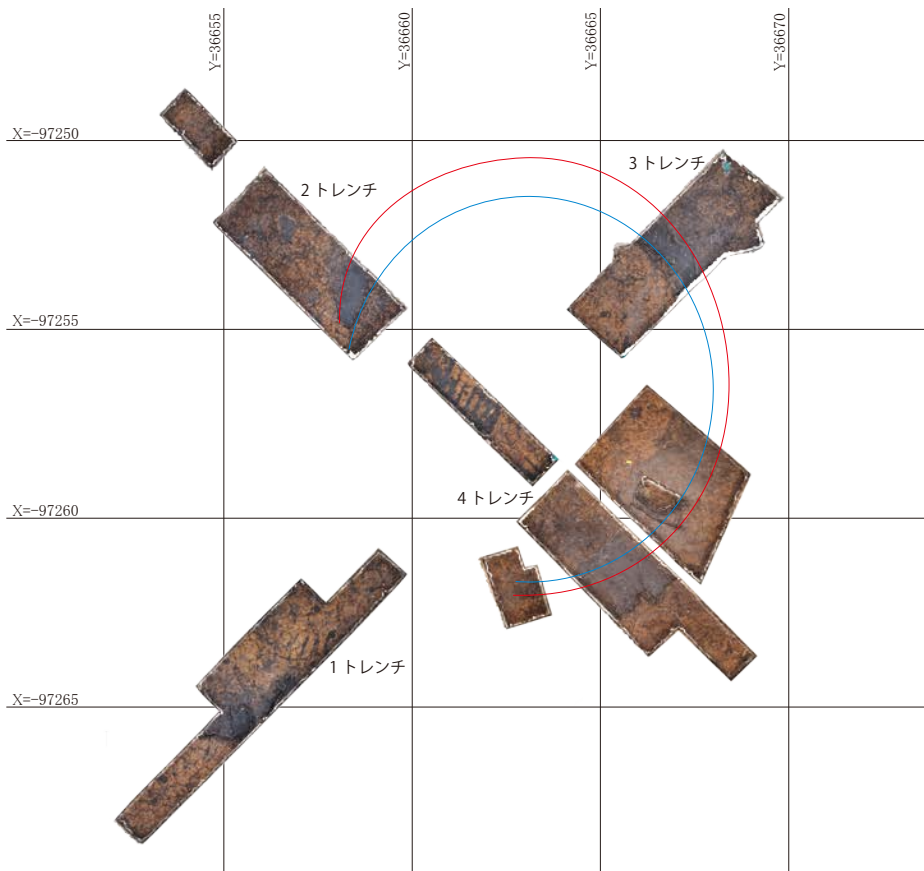
第Ⅲ章 保存整備

酒元ノ上横穴墓群の再整備事業を実施した。遺構保存覆屋見学施設の建設から既に20年近くが経過し、施設各所の経年劣化が顕著となっているため、令和2年度策定の『酒元ノ上横穴墓群遺構保存覆屋再整備基本計画・基本設計検討書』に基づいて再整備工事を複数年度計画で実施中である。

令和3年度は破損状況の顕著な照明施設や排煙施設の一部撤去を行った。



第2図 西都原 291 号墳調査区配置図 (S=1 : 250)



第3図 滅失墳1 調査区配置図 (S=1 : 200)

1 西都原 291 号墳
3 トレンチ全景 (北から)



2 西都原 291 号墳
4 トレンチ全景 (西から)



3 西都原 291 号墳
5 トレンチ全景 (南から)





4 西都原 291 号墳
6 トレンチ全景 (東から)



5 西都原 291 号墳
7 トレンチ全景 (西から)



6 西都原 291 号墳
8 トレンチ全景 (南から)

7 滅失墳 1

1 トレンチ全景 (北東から)



8 滅失墳 1

2 トレンチ全景 (南東から)



9 滅失墳 1

3 トレンチ全景 (南西から)





10 滅失墳 1
4 トレンチ全景（北西から）



11 滅失墳 1
4 トレンチ 地下式横穴墓
竪坑部分（北西から）



12 滅失墳 1
4 トレンチ 地下式横穴墓
竪坑内土層堆積（南西から）

報告書抄録

ふりがな	とくべつしせき さいとぼるこふんぐん はくつちょうさ・ほぞんせいびがいようほうこくしょ							
書名	特別史跡 西都原古墳群 発掘調査・保存整備概要報告書							
副書名								
巻次	XXIV							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	留野 優兵							
発行機関	宮崎県教育委員会（宮崎県立西都原考古博物館）							
所在地	〒880-8502 宮崎県宮崎市橘通東1丁目9番10号 (〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅字西都原西5670)							
発行年月日	2022（令和4）年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
さいとぼる291ごうふん 西都原291号墳	さいとしみやけ4799ぼんち 西都市三宅4799番地	45208				2021.12.01 ～ 2022.03.21	98㎡	史跡整備関連
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	古墳	古墳	周溝	須恵器・土師器・石器ほか		大きく削平を受けた墳丘の形状が、円墳であることが判明した。		
だい3しぐんめっしつふん (めっしつふん1) 第3支群滅失墳 (滅失墳1)	さいとしみやけ4800・ 4801ぼんち 西都市三宅4800・ 4801番地	45208				2021.12.01 ～ 2022.03.21	69㎡	史跡整備関連
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	古墳	古墳・現代	周溝・地下式横穴墓の堅坑			削平の結果、墳丘を失った古墳の周溝と、地下式横穴墓の堅坑を確認した。		

特別史跡 西都原古墳群 発掘調査・保存整備概要報告書（XXIV）

2022年3月31日

発行 宮崎県教育委員会（宮崎県立西都原考古博物館）

〒880-8502 宮崎県宮崎市橘通東1丁家9番10号

(〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅字西都原西5670)

印刷 明巧堂印刷株式会社

〒882-0863 宮崎県延岡市古川町82-10

TEL(0982)33-6327 FAX(0982)33-6316

